

(8 5) 群馬県の新治村の大道鉦山跡

参考文献(1)を手引きに探査に出かけた。砂鉄鉦山である。道路から、歩くこと10分から15分で鉦山跡である。適当な標本を簡単に採集することができた。

この鉦山跡への経路は次の通りである。関越道を月夜野ICで下車。三国峠に通じている17号を新治村を目指して進んでいく。新治村で、須川川に沿って西行していくのであるが、図1の地形図に示しているように、17号のどこで、左折すればよいか、説明文に迷ってしまう。この地形図の道路状況と、現在の道路状況に違いも見られる。最新の道路地図を参考として、現地付近にたどり着いたら、須川川を西行して行こう。原地区にはいると、道路の右側に神社がある。この神社から200m~300m当たりの道路の右側に、側道が伸びて、その先が、須川川を渡っている。この側道に入り、橋を渡ってから、大きく左折し、川に沿って上流へ細道を進んでいく。左折してから約200m当たり、田んぼの中に、山に向かっての広い農道がある。この農道の先が鉦山跡である。このあたりは道が狭いので、車の駐車は通行に妨げにならないように適当な場所を探すこと。

採集には磁石を持参すべし。重そうな石を捜し、当然ながら、磁石のつきの良い物を採集しよう。

探査日 2011年 5月、その他

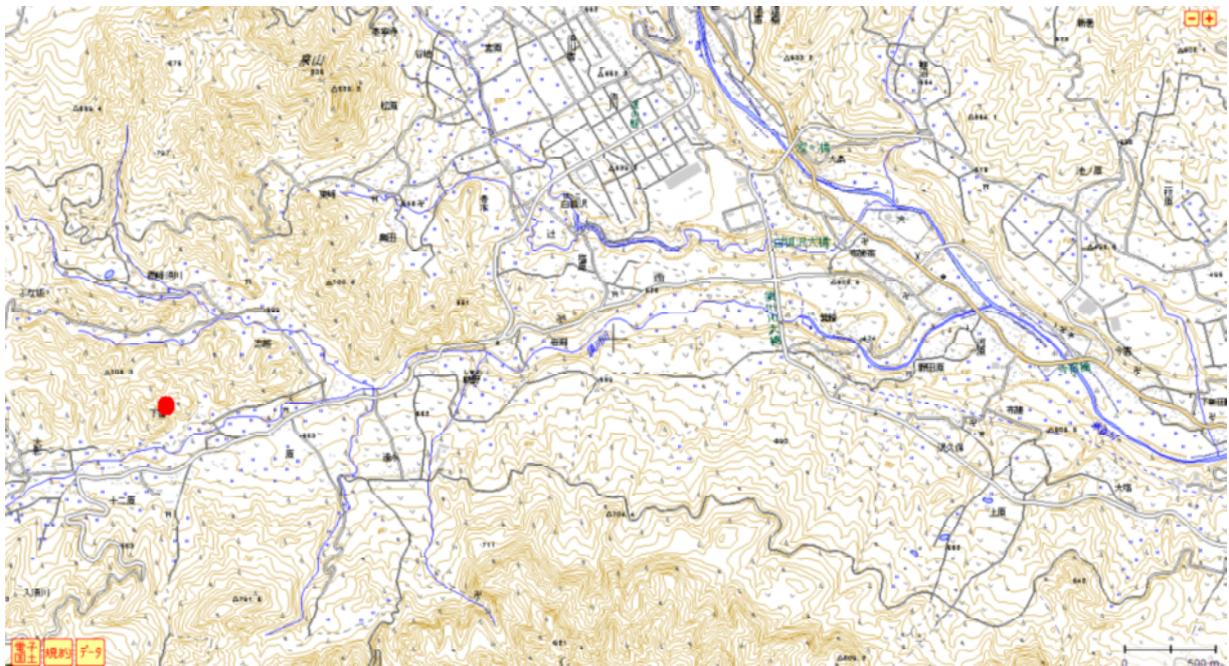


図1 国土地理院の地図サービスホームページより複写。赤丸のあたりが大道鉦山跡。

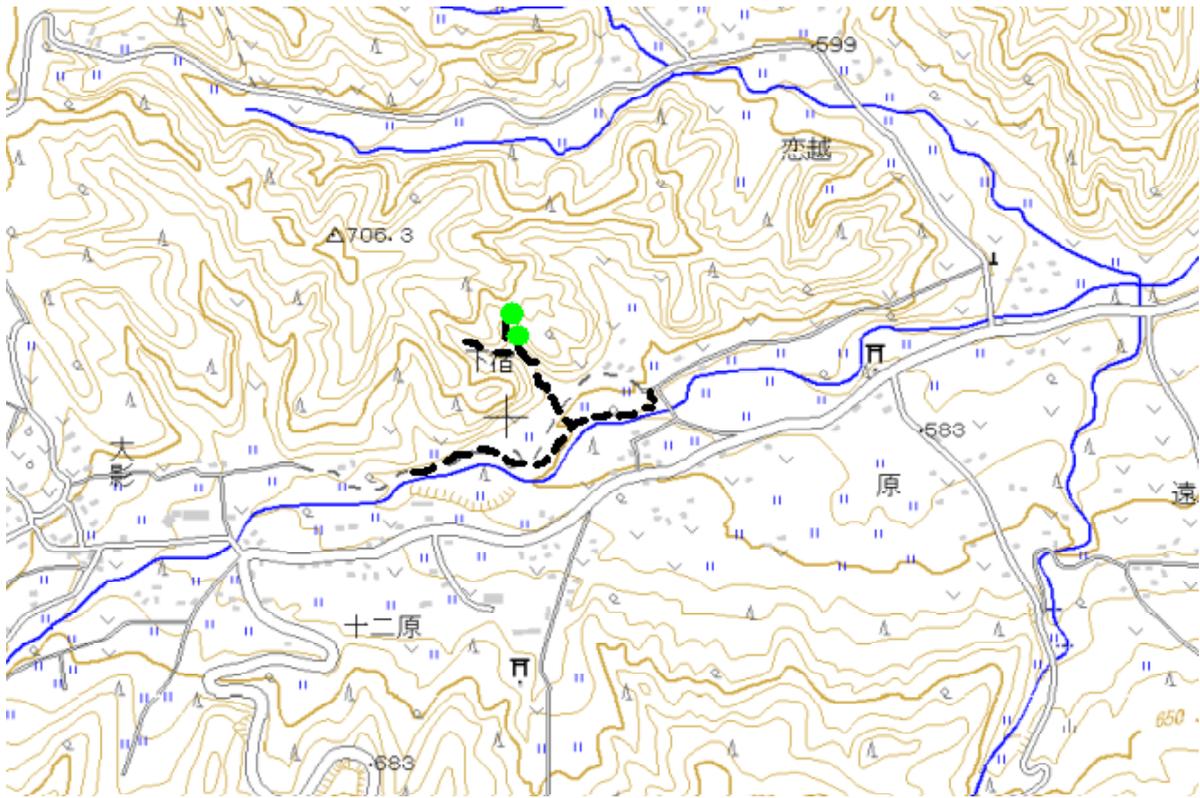


図2 図1の拡大図。鉾山跡への道を書き入れている。黄緑丸が確認した坑口跡。

鉾山跡写真



写真1 原地区にはいると、道路の右側に神社がある。そこから200m～300mの所で、右側に狭い側道がある。写真中で、柵の途切れているところ。この側道に入っていく。



写真2 田んぼの間の農道の先の正面の山の中に、鉋山跡がある。農道の先には、緩やかな小さい沢がある。沢に入るなり、砂鉄礫の転石が転がっている。



写真3 沢を登っていくと、沢は左右に分岐している。このあたりにも砂鉄礫の転石が転がっている。右の沢に進む。右側の沢に進んでいくと、右側の山の斜面に、連続して2つの坑口跡がある。



写真4 坑口跡の1つ。

採集鉋物写真

幾つかの砂鉄礫を採集できた。砂鉄の硬い塊である。それ程の物ではないので未掲載。採集に当たっては、磁石が必携である。

参考文献(1)「日曜の地学 5 群馬の自然をたずねて」野村 哲、築地書館、1998年。